

第1学年 音楽

【音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、表現したり鑑賞したりする姿】をイメージした授業
二本松二中 遊佐久美子

1 本題材における夢中になって学ぶ姿

| 時間 | 場面 | 学習活動（夢中になって学んでいる姿） | 資質・能力等 |
|----|-------------|--|--|
| 1 | 習得する | ・ 箏の名称・流派による爪と座り方の違い・縦譜の読み方・爪のはめ方・基本的な奏法を身に付けている。 | ・ 箏の奏法や縦譜の読み方について見付けている。（知・技） |
| 2 | 見通す 習得する | ・ 縦譜の楽譜を正しく読み、「さくらさくら」の分奏練習をしている。 | ・ 主体的・協働的に分奏練習に取り組んでいる。（態） |
| 3 | 考える 対話する | ・ 音楽を形づくっている要素とパートの役割を考えながら「さくらさくら」のグループ練習をしている。 | ・ 演奏のポイントを自分事として捉え、創意工夫してグループ練習に取り組んでいる。（思・判・表） |
| 4 | 考える 振り返る | ・ 音楽を形づくっている要素とパートの役割を工夫して発表会をしている。 ・ 他のグループでは、どのような演奏の工夫をしているか聴き取っている。 | ・ 練習した成果を主体的・協働的に発表している（態） ・ 演奏のポイントがどのように生かされているか考えながら級友の発表を鑑賞している。（思・判・表） |

2 本時における研究の視点

視点Ⅰ【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

- ① 音楽を形づくっている要素(音色・拍・間・テクスチャ)を意識させながら音楽活動に取り組ませる。

- 音楽を形づくっている4つの要素を意識しながらグループ練習に取り組む。



- 音楽を形づくっている要素と関連づけながら活動がすすんでいるグループの演奏を紹介する。



- ② 合奏での3パートの役割を考えさせ、自分がどのように演奏すれば豊かな音楽表現になるか考えながら取り組ませる。

- パートごとの演奏上の役割を考え、音楽表現を工夫する。



視点Ⅱ【学びの連続性につながる振り返り】

自分の言葉で振り返りをさせる。

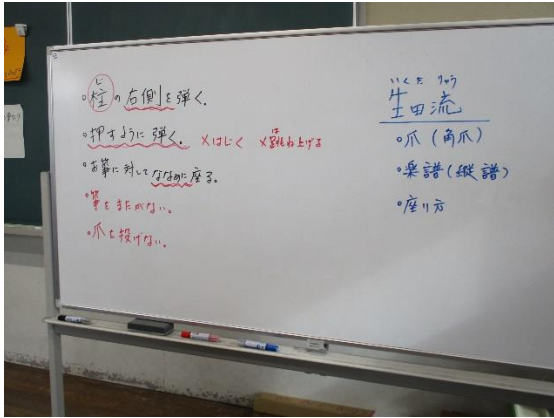
<振り返りの視点>

- ① 本時で意識して学習したこと
- ② できるようになったこと
- ③ 次時でがんばりたいこと

<生徒の振り返りから>

- ・ 奏法に気をつけると音がよく響いていて、合奏した時に「きれいだなあ。」と思いました。
- ・ 次の発表会では、自分のパートの役割をしっかりと果たして合奏を成功させたいです。
- ・ やればやっただけ上手になっていくのが、嬉しいです。
- ・ 曲が華やかな感じに聞こえるように、2のパートをがんばりたいです。

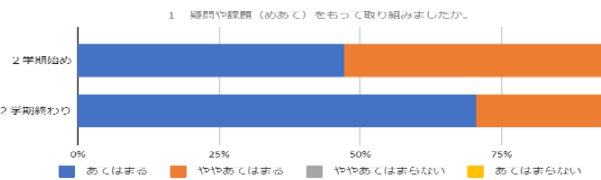
★板書を創る【本時のねらいに基づいた板書案の作成】



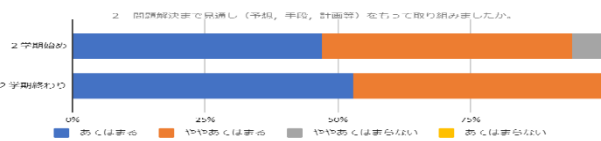
【和楽器を学ぶ上での心構えを常時掲示】

3 アンケートの結果から

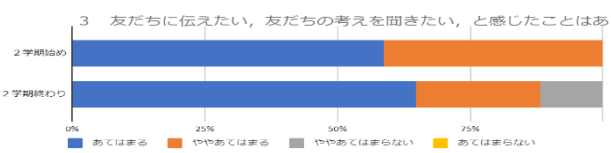
① 関心・意欲、課題意識



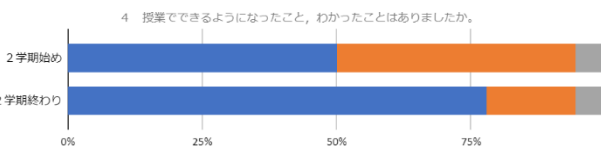
② 見通し



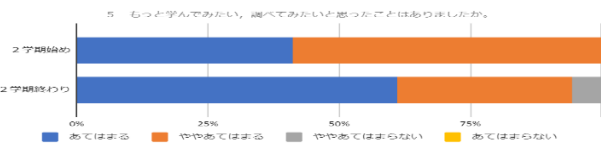
③ 話し合い・学び合い (協働の学び)



④ 振り返り



⑤ 新たな学びへ (学びの連続性)



4 考察【○成果 ●課題と改善策】

【視点Ⅰ】

- 「さくらさくら」の演奏を成功させるためのポイントを提示したことで、音楽を形づくっている要素を意識しながら学習に取り組むことができた。

- 合奏でのパートの役割を考えさせ、音楽表現を工夫させたことにより、表現の幅が広がった。また、自分の役割を果たそうと課題を自分事として捉え、課題解決に向かう姿が見られた。

- 生徒が働かせた「見方・考え方」を見逃すことなく、注意深く見取り、称賛したり広めたりして「深い学び」へと導けるよう教師のコーディネート力を高めていく必要がある。

【視点Ⅱ】

- 練習すればするほど演奏ができるようになり「演奏ができるようになることが嬉しい。」「授業が楽しい。」と振り返りで記述する生徒が多く見られた。

- 振り返りの記述をみると、奏法に気をつければ音色が変わることを実感した生徒が多かった。箏の音色が美しい・きれいだと感じた生徒が多く、伝統的な音の魅力を味わいながら学習に取り組むことができた。

- 次時が最終発表会であることを告げると不安の声が聞かれた。納得いく演奏に仕上げたいとする意欲の表れでもある。題材構成の再考や単位時間におけるタイムマネジメントを工夫する必要がある。

【その他】

- 後日タブレットを活用し、グループ内で互いに動画撮影し、奏法や座り方、弾く位置などが正しくできているかの確認の時間を設定した。客観的に自分の姿を確認できたことで、課題を把握することができ、課題解決に向けて意欲が高まった。今後の授業づくりにおいても積極的に活用していきたいと考える。 実際の指導案はこちらへ